

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされており、このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	術後消化器がん患者に対する作業療法介入効果の検討
当院の研究責任者 (所 属)	坂田 崇好（リハビリテーション部）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	大阪保健医療大学大学院 保健医療学研究科保健医療学専攻 教授 井口 知也
本 研 究 の 目 的	消化器がんの手術を受けられた患者さんに対する作業療法の介入効果を後方視的に検討することを目的とします。
調査データ該当期間	2020年4月～2022年3月
研究の方法(使用する 資料等)	上記期間に、当院の外科病棟で消化器がんの手術後の作業療法を受けられた患者さんの診療情報（年齢、性別、疾患名、術式、機能的自立度評価（FIM、PS）、作業に関する自己評価（OSA））
試料/情報の他の機関 への提供	なし
個人情報の取扱い	情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究成果が公表される場合でも個人が特定されることはありません。
本研究の資金源(利益 相反)	利益相反無し
お 問 い 合 わ せ 先	朝日大学病院 リハビリテーション部 作業療法士 坂田 崇好 電話：058-253-8001
備 考	